

2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月15日

上場会社名 株式会社買取王国 上場取引所 東
 コード番号 3181 URL https://www.okoku.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 和夫
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)陳 美華 TEL 052-304-7851
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績 (2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	2,317	0.4	34	447.3	43	258.8	31	552.2
2020年2月期第2四半期	2,307	3.4	6	—	12	—	4	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	17.83	—
2020年2月期第2四半期	2.73	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	3,374	1,925	57.1	1,087.84
2020年2月期	3,268	1,902	58.2	1,074.88

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 1,925百万円 2020年2月期 1,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,075	3.7	113	4.7	123	0.2	73	16.3	41.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	1,771,800株	2020年2月期	1,771,800株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	2,200株	2020年2月期	2,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	1,769,667株	2020年2月期2Q	1,770,183株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大幅に制限され、景気は大きく後退し、業種・業態によっては壊滅的な打撃を受けております。世界経済・日本経済は厳しい状況となっております。

小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除されたのちに、都道府県による緊急事態宣言が行われたり、自粛ムードの広がりや雇用所得環境の悪化などにより厳しい経営環境が続いております。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めてまいりました。

商品政策においては、全体の商品調達力を高める取組みをしております。店頭買取システムの見直しに注力し、効率アップを目指すとともに、宅配買取・法人買取を強化して多様な調達ルートを確保してまいりました。中止していた催事買取は、実験的に再開し、提携先を増やす営業活動は継続しております。

店舗政策においては、標準化システムの構築を推進しております。買取王国業態では、見やすい・探しやすい・手に取りやすいという標準化を推進する一方、各店の魅力を伝えるために、それぞれ狭属性一番化を追求いたします。工具専門店業態では、誰でも買取・販売・マネジメントができる標準化システムを構築し、フランチャイズ加盟店の募集をスタートしております。

出退店については、2020年3月24日に閉店したWHYNOT大垣店の跡地に、工具買取王国大垣258号店（岐阜県大垣市）を2020年5月16日にオープンいたしました。また、2020年3月15日に、工具買取王国堺浜寺26号店（大阪府堺市西区）を、2020年8月1日に、工具買取王国鈴鹿白子23号店をオープンいたしました。新たな試みとして、女性のための総合リユースショップRE&（リアンド）業態の第1号店として、RE&長久手店（愛知県長久手市）を2020年5月1日にオープンいたしました。

売上高については、前年同期をわずかに上回りました。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、主要商材のファッションが不調でしたが、工具・メディア・貴金属が順調に推移しておりました。また、経費削減に努めたため、販売費及び一般管理費が前年同期を下回り、営業利益が前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,317百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は34百万円（同447.3%増）、経常利益は43百万円（同258.8%増）、四半期純利益は31百万円（同552.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて109百万円増加し、2,158百万円となりました。これは、現金及び預金が192百万円増加した一方、商品が73百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて4百万円減少し、1,215百万円となりました。これは、有形固定資産が12百万円、投資その他の資産が15百万円増加した一方、無形固定資産が31百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ105百万円増加し、3,374百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と同様に、682百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が27百万円増加した一方、未払法人税等が16百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて82百万円増加し、766百万円となりました。これは、長期借入金が74百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ82百万円増加し、1,449百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて22百万円増加し、1,925百万円となりました。これは、利益剰余金が配当金の支払により8百万円減少した一方、四半期純利益により31百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末と比べて192百万円増加し、1,030百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は156百万円（前年同期は54百万円の増加）となりました。これは主に、たな卸資産の減少額73百万円、減価償却費の計上59百万円により資金が増加した一方、法人税等の支払額36百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は57百万円（前年同期は42百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出47百万円、差入保証金の差入による支出7百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は93百万円（前年同期は44百万円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入300百万円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出198百万円、配当金の支払額8百万円により資金が減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症長期化による当社の業績に与える影響額を合理的に算定することが、現時点では困難なため、2020年4月14日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,232	1,030,472
売掛金	123,827	101,183
有価証券	32,051	32,007
商品	989,032	915,969
その他	65,880	79,207
流動資産合計	2,049,024	2,158,838
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	159,657	172,410
土地	341,824	341,824
その他(純額)	73,539	72,803
有形固定資産合計	575,020	587,038
無形固定資産		
投資その他の資産	119,971	88,156
投資その他の資産		
投資有価証券	150,000	150,000
関係会社株式	21,000	21,000
差入保証金	241,025	247,389
その他	112,771	121,842
投資その他の資産合計	524,796	540,231
固定資産合計	1,219,788	1,215,426
資産合計	3,268,813	3,374,265
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,313	5,788
1年内返済予定の長期借入金	328,224	355,730
未払法人税等	48,926	32,041
賞与引当金	16,663	19,204
ポイント引当金	18,397	17,897
その他	265,177	252,257
流動負債合計	682,701	682,919
固定負債		
長期借入金	581,104	655,593
退職給付引当金	32,100	36,500
資産除去債務	69,996	73,637
その他	574	574
固定負債合計	683,774	766,304
負債合計	1,366,476	1,449,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,370	336,370
資本剰余金	266,370	266,370
利益剰余金	1,299,595	1,322,299
株主資本合計	1,902,336	1,925,040
純資産合計	1,902,336	1,925,040
負債純資産合計	3,268,813	3,374,265

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	2,307,899	2,317,260
売上原価	1,009,408	1,008,959
売上総利益	1,298,491	1,308,301
販売費及び一般管理費	1,292,192	1,273,821
営業利益	6,299	34,479
営業外収益		
受取利息	565	1,173
受取手数料	5,909	5,747
その他	1,562	4,236
営業外収益合計	8,037	11,157
営業外費用		
支払利息	1,157	1,224
その他	926	445
営業外費用合計	2,084	1,670
経常利益	12,252	43,967
特別利益		
雇用調整助成金	-	6,673
受取保険金	-	10,000
固定資産売却益	-	325
特別利益合計	-	16,998
特別損失		
子会社株式売却損	1,072	-
解約違約金	404	-
店舗閉鎖損失	2,400	-
休業手当	-	8,148
特別損失合計	3,876	8,148
税引前四半期純利益	8,376	52,817
法人税等	3,538	21,264
四半期純利益	4,838	31,553

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,376	52,817
減価償却費	60,057	59,084
賞与引当金の増減額(△は減少)	536	2,541
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,200	4,400
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△452	△500
受取利息及び受取配当金	△566	△1,174
受取保険金	-	△10,000
子会社株式売却損益(△は益)	1,072	-
固定資産売却損益(△は益)	-	△325
支払利息	1,157	1,224
売上債権の増減額(△は増加)	4,656	22,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,720	73,125
仕入債務の増減額(△は減少)	△956	475
未払金の増減額(△は減少)	3,530	△5,133
その他	22,929	△16,322
小計	42,821	182,858
利息及び配当金の受取額	910	1,310
利息の支払額	△1,010	△1,275
保険金の受取額	-	10,000
法人税等の支払額	△2,713	△36,419
法人税等の還付額	14,299	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,307	156,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,443	△47,182
有形固定資産の売却による収入	-	325
無形固定資産の取得による支出	△11,907	△1,885
投資有価証券の取得による支出	△132,124	-
有価証券の償還による収入	190,000	-
子会社株式の売却による収入	9,828	-
差入保証金の差入による支出	△4,605	△7,185
差入保証金の返還による収入	9,050	527
保険積立金の積立による支出	-	△800
その他	△1,110	△1,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,687	△57,379
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△194,495	△198,005
配当金の支払額	-	△8,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,495	93,146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	52,499	192,239
現金及び現金同等物の期首残高	669,922	838,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	722,421	1,030,472

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症による影響)

第1四半期会計期間の四半期報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症による影響)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(四半期損益計算書関係)

・雇用調整助成金

店舗の営業時間短縮や臨時休業を実施した際に、発生した人件費の一部が、雇用調整助成金として政府より補助されるため、特別利益に計上しました。

・休業手当

新型コロナウイルス感染症の拡大防止による政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の営業時間短縮や臨時休業を実施しました。発生した特別有給費用や休業補償費用等を休業手当として、特別損失に計上しました。